

Open Management Interview オープン・マネジメント インタビュー

## 「省エネ補助金」申請をサポートして、 エコロジー事業を推進する！

株式会社 イースリー コンサルティング事業部  
エリアマネージャー **穂苅 寛生 氏**



今回は、新入会員の(株)イースリー コンサルティング事業部 穂苅エリアマネージャーに、同社が取り組んでいる「省エネ」推進事業についてお話を伺いました。(編集部)

### 東日本大震災を機に創業

— まずは、貴社が設立された経緯や背景などについてお聞かせいただけますか。

当社は、2011年の東日本大震災のボランティアを機に生まれたベンチャー企業です。

社名のイースリーとは、「encounter」全ての出会いを大切に、「ecology」全てをエコロジーに考えて行動する。「evolving」一人ひとりが常に成長し進化し続ける。この3つのeの経営理念の基に日々活動を続けています。

東日本大震災は、エネルギー安定供給の脆弱性を露見させました。我が国の喫緊の課題として、エネルギー対策の見直しが迫られると共に、エネルギー安定確保の問題等を世界的課題として認識させることとなりました。

そんな中で、当社は、企業の「省エネ」「補助金」「リスク」分野をメインとしたコンサ

ルティング事業で、これまで数百社のお手伝いをさせていただいております。

また、経済産業省『平成31年度エネルギー使用合理化等事業者支援事業』の「エネマネ事業者」として登録されました。おかげ様で、業界トップクラスの採択実績を有し、金融機関等から講演会の依頼も多数寄せられております(写真①)。

### 省エネ補助金を活用して、経営力向上を

— 一次に、「省エネ」分野での具体的な業務内容について、ご説明ください。

昭和54年に「エネルギーの使用の合理化に関する法律」が制定されました。この「省

写真①



第四銀行・北越銀行主催「省エネ補助金セミナー」

エネ法」と呼ばれる法律によって、省エネルギーは企業や個人の問題を超えて、国家の取り組み、解決しなければならない問題になりました。

これに応じて政府でも、企業の省エネルギーへの取り組みを積極的にサポートする施策を打ち出しています。その中心になっているのが、「省エネ補助金」と呼ばれる一連の支援策です。

毎年、経済産業省・環境省・国土交通省では、数十億～数百億と膨大な予算が生まれ、「省エネルギー性能の高い機器及び設備の導入」に要する経費の一部を補助する事業を実施しています。

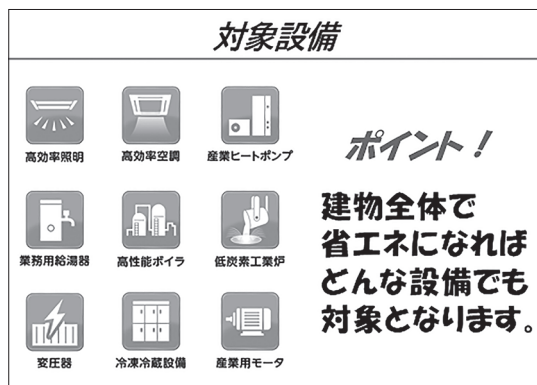
一貴社は、「省エネ補助金」導入をコンサルティングされているのですね。

はい、そうです。省エネ補助金は、国内において事業活動を営んでいる法人及び個人事業主を対象、つまり全業種の法人が補助対象事業者です。

また、対象設備も様々で、省エネに寄与する設備はどんな設備でも対象となり得ます(写真②)。

省エネ補助金活用のメリットは、設備投資資金の経済的負担を軽減することで経営状況の改善に繋がるだけでなく、高効率の省エネ設備に入れ替えることにより、省

写真②



エネ・省コストに繋がります。

また、設備投資資金の融資やリースが受けやすくなったり、省エネを推進している企業として、企業イメージを向上させることができるといったこともメリットとして挙げられます。

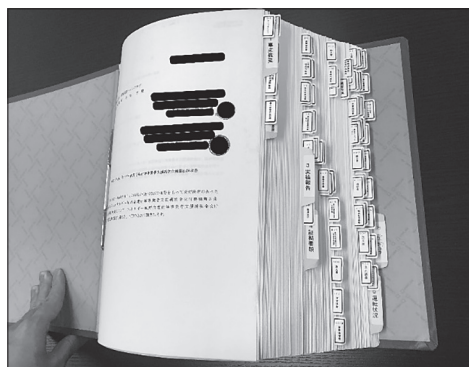
### 補助金申請は煩雑で、時間と労力が必要

— 「補助金申請」について、もう少し詳しくご説明ください。

各省庁の補助事業は、毎年3月～6月の間で1ヵ月間という非常に短い公募期間で申請書を作成し、提出をしなければなりません。

そして、採択されないと補助金は受け取る権利が発生しませんが、採択率が全国平

写真③



均40%と非常に難易度の高い事業となっております。

また、補助金を受け取るためには、申請時だけではなく、採択後・中間・工事後・完了後3年間、書類作成が定期的に必要となりますので、企業側としては、相当な時間と労力が発生します(写真③)。

この煩雑な申請作業を、当社では「完全成功報酬型」にてご支援させていただいております。

### 「省エネ補助金」活用事例

一「省エネ補助金」の活用事例について、いくつかご紹介ください。

#### 【金属加工工場：新潟】

新潟県にある金属加工工場A社は、水銀灯の使用禁止とレーザー加工機の老朽化で更新を迫られていましたが、かなりの費用がかかるためなかなか更新ができませんでした。

そんな中で当社がお手伝いして、「省エネ補助金」を活用し、水銀灯とレーザー加工機を更新して、設備と工事費の1/3の補助金を獲得し、建物全体の30%以上の省エネを図ることができました(写真④)。

#### 写真④

<b>エネ合 事業場単位 1/3</b>	
新潟県 金属部品加工工場	改修内容：照明・レーザー加工機
	
省エネ率：36.6% 省エネ量：16.2kl 総事業費：54,014,000円 補助金：17,967,999円	

#### 【スーパーマーケット：長野】

長野県にあるスーパーマーケットB社は、県内で数十店舗を運営されています。R22冷媒ガスを使った冷凍空調機器が、2020年で国内製造中止になるために更新を迫られていましたが、店舗数が多いため、補助金を活用しないと経営的に苦しい状況でした。



そんな中で、当社がお手伝いして、「省エネ補助金」を活用し、照明・空調・冷凍冷蔵設備を更新し、EMS(エネルギーマネジメントシステム)を導入し、より効率的な省エネを図ることができて、設備費・工事費の1/2の補助金を獲得できました(写真⑤)。

#### 【きのこ工場：宮崎】

宮崎県にある、きのこ工場C社は、きのこ生産では温度管理が必要で、空調設備を24時間稼働しているため、電気代が非常に高く困っていました。

そんな中で、当社がお手伝いして、「省エネ補助金」を活用し、太陽光発電を導入しました。太陽光で発電した電力を、空調設備で活用し、いわゆる自家消費することにより、年間で約400万円もの電気代削減に繋がりました(写真⑥)。

#### 写真⑤

<b>エネ合 事業場単位 1/2</b>	
長野県 スーパーマーケット	改修内容：空調・照明・冷設・EMS
	
省エネ率：14.7% 省エネ量：56.2kl 総事業費：78,054,840円 補助金：32,571,650円	



**【老人ホーム：三重県】**

三重県にある老人ホームD会は、空調設備の老朽化と、国内大手メーカーの蛍光灯器具生産終了により、空調と照明の更新を迫られていました。

そんな中で当社がお手伝いして、環境省の「省エネ補助金」を申請し、空調・照明をL2-Tech(先導的低炭素技術)認証製品で導入することで、設備費・工事費の1/2の補助金を獲得できました(写真⑥)。

—最後に、喜多村理事長からコメントをお願いします。

喜多村：皆様もご承知のとおり、東日本大地震をはじめとして各地で大地震が頻繁に勃発しています。また、地球温暖化に伴う海水温の上昇によって巨大化する台風による河川の氾濫など自然災害が毎年のように日本各地に甚大な被害をもたらしており、今後とも我が国は必ず自然災害に見舞われることを想定してはなりません。

そのような状況下で、国際的には脱炭素社会などのエネルギー問題への取り組みが求められ、国内的には、少子高齢化・人口減少と消費マーケットの縮小など、経営を取り巻く環境はかつてないほど厳しさを増しています。

この複雑な経営環境を乗り越える上での解決策の一つとして、積極的なコスト削減、レンタル事業活用を採り入れることなども重要と思われます。そのような観点から、今回取り上げた(株)イースリーが取り組んでいる「省エネ補助金」活用のノウハウや申請業務支援も有益な情報かと思いましたので、ご紹介させていただきました。

—「補助金事業」に関しては、公募期間も短く、申請書類も煩雑ですし、そもそも、どのような補助事業があるのかといった情報も一般的には知られていません。

そういう意味で、貴社のような専門的なノウハウを有するコンサル会社の活用が現実的だと思いました。本日はありがとうございました。

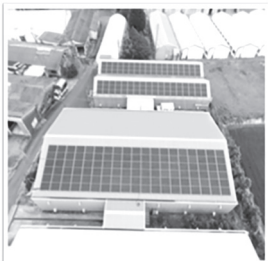

●(株)イースリー 会社概要●

設立：2011年4月20日  
 代表者：代表取締役 濱島 亮  
 従業員数：15名(2019年12月現在 派遣社員を含む)  
 事業内容：省エネコンサルティング、補助金コンサルティング、リスクコンサルティング、電力コスト削減、損害保険代理店、キャプティブ  
 許認可：エネマネ事業者 平成31年度登録  
 本社：東京都千代田区飯田橋4-7-8  
 第2山商ビル3階  
 名古屋事務所、大阪事務所

写真⑥

**再エネ 1/3**

宮崎県 きのこ工場 設備内容：太陽光発電

発電量：232,139kWh  
 出力：197kW  
 総事業費：44,438,357円  
 補助金：14,400,000円

写真⑦

**ASSET 1/2**

三重県 老人ホーム 改修内容：空調・照明




省エネ率：37.1%  
 省エネ量：207t-co2  
 総事業費：46,525,738円  
 補助金：17,803,000円